

# 轉てん 教ぎょう

2

2021  
Feb

信のとびら

ご弘通を考える

2月のご奉公のすすめ

2月のお寺の行事予定

12月のご奉公日誌

新年・新春のご挨拶

日晨上人から学ぶ 根緒泉溪

今年度のご奉公テーマ「教化のすすめ」

人の幸せを願う菩薩行 根緒泉溪

私のよろこび

新店舗開店

ご回向で頂いた御利益

こどもたちの会

信者仲間が支えてくれる



佛立本旨講妙應寺

モデル: はなびちゃん (広島教区)

# ご仏通を考える



## コロナ禍の中でも出来る

### ご奉公のやり方を模索

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、お寺を閉門する事態も起きました。大勢の人が集まるお寺の行事は自粛して朝参詣に併修し、信者宅での御講はとりあえず中止としてお寺の庫裏くろ二階の御宝前を拝借して奉修することに

なりました。以前はより多くの方を参詣将引する努力を重ねてきましたが、今は大きな声で参詣を呼びかけるわけにもゆきません。そんなことから、色々そくと齟齬そごが生じてきました。そこで、これからのご奉公をどのように進めたらよいか検討を重ねました。

### ツイッターの活用

その結果、昨年5月からユウチューブYouTubeを始めることになりました。そして、この妙應寺 YouTube チャンネルやお寺の存在を世間に弘める為ツイッターTwitter を使い宣伝活動を始めました。お導師はじめ6人の教務で協力してやっています。おかげさまで、YouTube の妙應寺チャンネル登録者数

は二百五十四人（12月末）にな

り少しずつ増えてきています。Twitterの宣伝効果ですが、お寺のYouTubeが一日に約千五百人の目に触れているようです。教務部の一人がおよそ二百五十人に毎日お寺のことを伝えている計算です。一日に二百五十人の人々に直接対話をして信心を勧めることは難しいことですが、Twitterなら可能なのです。

### 最初は戸惑いました

実はお導師はじめ教務もTwitterを始めたのは今年の夏以降です。初めは馴染めずに戸惑いましたが、試行錯誤

しながら進めてきました。

TwitterやYouTubeを知らないという方々も多いと思います。ぜひこの機会に皆さんも知ろうと努力してみてください。「知らない」と「嫌い」の感情は似ていると言われます。「知らないから嫌い」となってしまうわないで、お寺のご弘通ご奉公のためと受け止めてご協力お願いいたします。

### 世間の人にも一層知って

#### いただくために

ご信者皆さんの協力があれば、一日に一人一人に佛立本旨講妙應寺の存

在を知らせることも難しくありません。もちろんTwitterやYouTubeだけで全てが伝わるわけではありません。しかし、多くの方に知ってもらうことは、確実に妙應寺のご弘通にプラスになることです。

今後も様々な形で、佛立本旨講妙應寺発展のため新たな試みをお願いすることがあると思います。ご弘通のためご協力を宜しく願います。

昨年末から始まったオンラインブ朝参詣のグループへの参加も宜しく願います。

# 2月のご奉公のすすめ

## 今年度のご奉公テーマ「教化」

今年はお祖師様ご生誕八百年を数えます。お祖師様は上行菩薩のお生まれ変わりとして、末法の人々を苦から救う妙法弘通

にはげられました。あらゆる苦難に妙法口唱一本槍で立ち向かう、明るく積極的な信心を学びましょう。

## 今月の「随喜轉教」

生きるとは苦との闘いです。苦しみの上に更に苦しみを作り重ねてしまい易い末法の世にあって、信力によって「苦しみ

の海にしづむと見えつるも御法の浪にうかぶ諸人」という道が開けることを家族や身近な人々に伝えましょう。

## 三月の「ご奉公のポイント」

### 一、れんげまつり

3月7日(日)午前10時半より本堂にて、高祖大士御命日総講に併せて開催されます。三密を避けるためリモート参詣を行います。皆さんでお祖師様のお誕生

をお祝いさせて頂きましょう。

### 二、春季彼岸総回向

3月20日(土)10時より本堂にて奉修されます。六角堂は代表者のみの参詣とさせていただきます。お祖師様は彼岸抄で、お彼岸の

期間は小善が大善となる特別な期間であると教えてくださっています。ユーチューブの「お盆とお彼岸の違い」「回向のすすめ」等を参照して回向の志を弘めましょう。

### 三、門祖会は分散で(再掲載)

2月28日(日)に奉修予定の門祖会は、前週の「朝参詣週間」を含めた期間の分散形式で朝の勤行に併修して奉修させていただきます。

期間中のお参詣当番は、2月19日(金)杉並、20日(土)多摩、21日(日)豊島、千葉、22日(月)渋谷港、23日(火)都中里、24日(水)目黒世田谷、25日(木)西部、26日(金)品川、27日(土)かながわ各連合の皆さんです。28日(日)当日は役中さんを中心にした代表参詣とします。



# ライブ朝参詣と リモート御講参詣

## 朝参詣をライブ中継

12月11日から朝の勤行がライブ中継されています。

コロナ禍の影響や病氣療養中、遠方にお住まいでお寺参詣が出来ないご信者の方々も、スマホやパソコンを使って、毎朝お寺の御本尊、御尊像に向き合い、御導師と一緒に御題目を口唱し、御祈願言上やご回向とお礼言上を聴き、御講師の御法門を聴聞させていただいております。

受信にはライン登録が必要です。詳細は受持ち御講師、事務局にお問合せ下さい。

## ○大阪第四親会場

Kさん

「右下写真の様な配置です。本堂に



加川さん宅の御宝前

お題目が届けと思ひ唱えることで、集中力アップですね」とライブ参詣の感想を寄せて頂きました。

## ○名古屋教区

Mさん

(入院中ですが)「今朝も朝参詣でスタートが切れました。病室では、ライブをイヤホンで聞きながら口パクでお看経」。(1日の六角堂初御看経では)「先祖がこんな素敵なところに眠っているのが判りました」と感激を語っています。

## リモート 遠隔からお講にお参詣

1月号でお伝えしました甲御講のインターネット中継が11月に始まり、福岡教区Mさんのご奉公による「お講席風景」が毎回当該連合へ届けられています。これにより御講参詣の出来なかつた方へもご法門や懇談の内容をお伝えできるようにになりました。

教務部からもご弘通の喜びの声をいただきました。

## ○西部連合 根上信浄師

おかげで西部連合と名古屋教区の合同お講が実現できました！

## ○多摩連合 神野照報師

多摩連合の甲お講に参詣できなかった方に「よろこび\*のお講席風景」を渡したら大変喜ばれました

## ○杉並連合 座間随祥師

# 令和2年12月行事報告

日 程	行 事	時 刻
1日～7日	開講本旨再興祈願朝参詣週間	
1日	火 開講本旨再興祈願総講	10時半
5日	⊕ 運営会議	9時半
	門祖会本部会議	中止
6日	Ⓜ 口唱会（担当；第三地区、総務部）	中止
	蓮華会・くんげ会合同御講	中止
12日	⊕ 連合幹事会	中止
	後続者育成連絡会	中止
13日	Ⓜ 高祖大士御命日総講	10時半
17日	木 開導聖人御命日総講	10時半
25日	金 門祖聖人御命日総講	10時半
	正副教区長会	中止
	御炭代・お鏡餅料奉納締切	
	教講ご奉公納め	
25～31日	年末御礼朝参詣週間	
31日	木 年末御礼御看経（元旦会・初御看経・初総講準備）	14時



朝の御看経の福岡教区 M さん宅

この度の企画に合わせて、「私のよろこび」を全員に読んでいただけるように、班長会で話し合っ  
て工夫するご奉公を決めました。

**○弘通部で担当 糠谷信章師**

毎月のお講風景の原稿おこしご奉公ありがとうございます。

来年度の弘通テーマは、「参詣」  
ですので、良いタイミングだった  
と思います。

# 新年のごあいさつ

## 日蓮聖人御降誕八百年にあたって

住職 水谷日在導師



承していただきました。

さらに四百年後、今度は開導

聖人がお生まれになって、信者

が一切の理屈抜きにお題目口唱

一本やりでご利用をあらわす民

衆の信仰を開発して日蓮聖人の

信仰をまた復活させてください

たわけです。

そういう歴史の悠久の流れを

思い、これを後世に伝承してい

かなければなりません。

改めて各ご家庭での御宝前の

お給仕、朝晩の御看経を行うと

いう、そういうお敬いの精神を

振り返らせてもらうことによっ

て、この一年間が一層充実した

ものになればありがたいと存じ

ます。



今年、ちょうど日蓮聖人がお生まれになって八百年という区切りの年になります。壇ノ浦で平家が滅亡してから、鎌倉幕府が滅亡するまでの百五十年間。当時は疫病、飢饉、地震等の災難が立て続けに起こった時代でした。それを釈迦牟尼佛の教えに従って災害を乗り越えるのだという法華経信仰を樹立なさった。

それから百年後に門祖日隆聖人が僧侶の理屈によって教えが曲げられないように八品門流という教義を確立して、後世に伝

## 日晨上人御37回忌について

副住職 水谷随歎師



昨年予定していましたが、日晨上人御37回忌ですがコロナ禍により延期して、本年8月奉修をいたします。

日晨上人は二十五歳の時に乗

泉寺住職に就任されて以来、本

門佛立宗の一宗独立、新宗制の

制定、乗泉寺の渋谷移転等にご尽力されました。昭和50年には乗泉寺住職を退任され、弟子である日尚上人に後任住職を託され現在の御奉公体制の礎を築いてくだされました。そして、昭和59年8月31日ご遷化されまし

和59年8月31日ご遷化されまし



# 新春の特別ご披露 から

①

た。

大恩ある日晨上人の御37回忌を本年8月に奉修予定しております。我々信徒一同、日晨上人のお徳をお偲びしてこれからの

ご弘通ご奉公に励みましよう。佛立本旨講の発展こそ先師上人への報恩ご奉公です。多くの方を参詣将引し、盛大な式にさせて頂きましょう。

## 本年度の御奉公方針は「参詣の促進」

根緒泉溪師



今年度のご奉公方針は「お参詣」に励ませて頂きます。

ているつもりでも、至らないところを知る事が出来と言うことでもあります。

御宝前に座るそうです。こうして仕事や生活が出来ると言うのは、お守りを頂いていればこそと感じている、今ではお看経をしないと落ち着かない、と言うそうです。又、御主人の性格は気の短いところがあったのですが、御信、心が改良されてからは、温和な性格に変わってきているとの事でもあります。

ある役中さんから伺った御利

であります。

現在妙應寺では、コロナ禍の

益談ですが、この方の御主人はお勤めの関係で中々お講にお参詣が出来なかつたのですが、御家内の度々の将引が実つて段々とお参詣をされるようになりました。このお参詣をする事によつて、ご信者と交わり、ご信心のお話が出来るようになつて、自分では正しくさせて頂い

例えば、御信心に謗法物を交えてやっていたのでは、御信心の障害になる事や、御宝前のお給仕も家の主人が率先してさせて頂く事の大事を知り、或いは、朝夕のお看経も欠かさずさせて頂く事の大事を、教わる事が出来たと云つております。今では、帰宅したらまっすぐ

影響でお寺やお講参詣が出来ない方々の為に、ラインのライブ中継によつて自宅でもお寺にお参詣している皆さんと一緒に御看経が頂けるように促進していきます。ぜひライブ中継のグループに参加してご信心の喜びが増進してゆくようお励みください。

# 新春の特別ご披露 ②

## 初燈明料と本堂護持御有志

神野照報師

4  
(月)

今朝は佛立本旨講初燈明料と本堂護持の御有志についてご披露させて頂きます。さて佛立本旨講では、浄財奉納の事をご有志と申します。このご有志とは、

もり、買ったつもり、旅行に行つたつもりと少しでも功德になるようにと、つもり御有志をしているのだそうです。

これで十分という心につたしたのが志という意味で、惜しい欲しいの欲心に勝ち、御法様の為に志を示すことが、尊い浄財となり功德となつて信心修養の

この様にいろいろと工夫した尊い志の御有志は、日尚上人が生涯をかけて開講本旨再興を願

### 寒参詣のすすめ

糠谷信章師

5  
(火)

大事な修行となるのです。新年の初燈明料や本堂護持の御有志は、佛立本旨講の歩みを照らす、妙應寺運営の維持とご弘通の活動資金となります。この事を十分に心得て、志し厚く奉納させて頂いてくださいましう。

寂光の道しるべ105頁には「寒参詣は、佐渡の酷寒に耐えながらも妙法蓮華経の真実を証明しようとする日蓮聖人のご苦労を偲んで、寒中の一カ月間を寒さに負けずに参詣に励もう、という趣旨の報恩ご奉公です」

行き仏様にお目にかかる事」でした。「今は、お寺の本堂に詣り、御法門を聴き、皆と共に題目口唱するのが参詣です」そして「お寺参詣を喜んですれば、身・命・財にわたる喜びが身につくので」と教えて頂いています。

ある御信者さんは、食べたつ

「昔は、仏様のもとに出かけて

コロナ禍での新年ですが、「一

# 年末のご挨拶

年の計は寒参詣にあり」と教えて頂いていますので、お互いに密を避け、マスク着用、時間帯の工夫等コロナ感染予防を確実

に実行して、また、ライブ参詣をするとか、それぞれの目標を立てて充実した思い出に残る寒参詣にしましょう。

## 令和二年を振り返って

年末のご挨拶より

根緒泉溪師

31  
(木)

令和2年も本日を以って終了しますが、今年の御奉公を振り返ると、一番に言える事は、新型コロナウイルスが、今も尚、感染が拡大している、ということとであります。

そこで妙應寺では、お参詣が出来ない方々の為に、ラインのライブ中継によって自宅にいても、お寺にお参詣している皆さんと一緒にお看経が頂けるようにしております。

妙應寺では、朝夕のお看経時に、御宝前に御祈願申し上げています。妙法の御題目の功德を以って、災難除滅、病即消滅によつて諸難を乗り越えて、世の中全体がお題目の中で、寂光浄土となるようにとの思いです。

又、今年の11月から、福岡教区のMさん宅と御講席を通信で結び奉修の様子を中継しました。この映像を編集し、「連合の喜び、お講席風景」として、御法門、御利益談、懇談会の内容等が印刷されます。

是非、この「私の喜び」を家族の方々に伝え、又、コロナの感染不安で、御講参詣やお寺参詣が遠くなっている方、或は、施設に入つて面会が出来ない方々にもお伝えして、ご信心の喜びが伝わってゆくよう活用して下さい。

妙法の御題目を頂く御信者は、数々の御守りの中で日々、大難が小難に、小難が無難ぶなんの御計らいの中で、生きてゆくことが出来るのですから、どんな問題もご祈願をかけて乗り越えますとのご信心前で、励ませて頂きましょう。

本年のご奉公、有難うございました。

# 「一番感謝の言葉をかけたい人」



## ◇親の姿勢が子どもへ◇

多摩教区

Hさん

孫を連れて子供たちが訪ねて来てくれました。

夕飯時に近況報告をしてくれました。娘は家族に。息子は仕事に。其々によるこび、感謝して充実した生活を送っているようです。家族が御法様に守られていて本当に有り難いです。

## ◇母のようになりたい◇

大井大森教区

Sさん

私は、四代目の信者です。信心をやりなさい！と言われてやっていくわけではなく、自然と母の後

ろ姿を見て、現在があります。母は、その母の後ろ姿を見て・・・という具合に伝承してまいりました。

私も母のようになりたいし、やりたいと本人が思うまでと思いますが、子供も家庭があります。今日はお参詣してくれました。

## ◇日在導師へ伝承された御教え◇

杉並教区

Kさん

大正時代のはじめかかりつけ医のすすめで、入信し乗泉寺日本橋教区に所属した祖父です。歴史ある在来宗派に比べれば創立半世紀の本門佛立講にご縁を頂いた素直さは嬉しい限りです。

## ◇日尚上人の教えを継承したい◇

練馬教区

Aさん

主人や両親、色々な方のお陰に感謝しておりますが、今のご利益の頂けるご信心の全てをお遺<sup>つかわ</sup>し下さった、日尚上人には、感謝という言葉では表現できません。

## ◇いつも感謝しているのは◇

千葉中央教区

Kさん

いつも感謝しているのは、産みの親とご信心を授けてくれた教化親と育ての親と主人方の親の8人です。いつも、恩を感じて、ご回向を欠かさずさせていただいております。

## ◇家族みんなに支えられて◇

かながわ北教区

Sさん

私は小さい頃から、母に連れられて良くお参詣をしており、母が喜んでくれるので青年会の幹事をしておりましたが、本格的にご信心をさせていただくようになったのは、結婚後に子供の幸せや年をとった両親の事をお願いしたいと思うようになったからです。

無信心の主人も退職後は私が朝参詣に行く時は、毎朝、駅まで車で送ってくれて帰ってくると玄関にスリッパを揃えて待っていてくれるという優しさのある協力をしてくれました。

今思うと、私のご信心は、母や主人、子供達に支えられていたと感謝しています。



### お鏡さん作り

#### 新年の御宝前を飾る

#### お鏡餅作りを行いました

昨年の開導会、高祖会ではお鏡餅を飾ることができませんでしたでしたが、半年ぶりにお供え作りのご奉公が行われました。



## スマホ便利アプリ 紹介コーナー

### 通信使用量を

確認いたしましょう



最近ライン朝参詣等の映像を見る機会が増えてきました。しかし大量の通信データを消費します。スマホの契約内容にもよりますが、契約が月に3GBギガバイトですと、約10時間で使い終わってしまいます。そこで、使用量が一目でわかるアプリをご紹介します。

「通信量チェッカー」は通信データ使用量がわかります。Wi-Fiワイファイ使用量も確認できますので、スマホの通信使用を全体的に把握するのにも役立ちます。

これで安心してお寺からのライブ映像をご視聴出来ますね。



## 新店舗開店

中里教区 Oさん

順調に飲食店を営んでいる最中、コロナ禍の起こる直前に立ち退きを言い渡されました。

「どうしようか？」不安の中で不動産屋を五軒ほど回りました。祖父のお陰で店が持てたので、毎日お寺参詣する度に「新店舗無事開店」の祈願の他に、

祖父のご回向を続けました。しかし、コロナ禍のため飲食関係も自粛で、お店が回っていかたか分かりません。結局は有難いことにご利益を頂き家賃の安い店が元のお店の近くに見つかり常連のお客様も引き続き来店いただけます。

コロナ禍の現在は、カウンター席を減らしたり、感染対策もしながらの営業です。難しい事ばかりです。それでも私は順調なほうです！もうこれ以上落ちることは無いし、無理しないでやっています。引き続き毎日お寺参詣をさせて頂き、毎月のお講参詣もさせて頂くなど、お礼の為に続けさせて頂きたいと思えます。

## ご回向で頂いた御利益

千葉中央教区 Nさん

現在はマンションの一室でエステティックサロンをやっているのですが、すぐ横が幼稚園で、子供たちだけじゃなくお母さ

んたちの声が賑やかです。二重サッシや防音カーテンなどの対策をしていましたが、コロナで窓を開けることになり、お客様

がお休みになられていらつしやる時だと困ったなあと思っていました。これはご回向だと思い至り、お隣の幼稚園、お店の土地建物と自分自身の関係有縁無縁のお塔婆とご回向を始めました。すると色々といい方向に向か

い始めました。まずマンションのお隣の部屋の家族が引っ越して行かれました。何人ものお客様に「お隣引っ越したの？よかったね！」とお客様にも喜ばれて良かったです。

次に以前 PayPay<sup>ペイペイ</sup>も申請したのですが審査が通らず使えていませんでした。最近 PayPay の営業の人が来て、再度申請を受け付けて頂いたところ、審査が通り、しかも手数料も0%に。

音については、ここぞという時は不思議とちよつと静かになつたりしておりまして、サロンのお客様さまも喜んでいきます。これも御法様のおかげです。

これからも毎月のお塔婆とご回向は続けていきたいと思えます。

## いけばな褒賞杯

渋谷港教区 Iさん

此の度、日本いけばな芸術協会よりいけばな褒賞杯を賜りました。

これもひと一重にお寺でのお花御奉公の賜もの感謝し、今後とも御奉公に精進させていただきます。



## 献花奉納の悦び

或る日教区長さんより「最近献花する人が少なくなりました」と話され、では私もさせて頂こうと思ひ母の命日に献華奉納しました。その後も機会があればと思つていましたが、コロナ禍により仕事が激減しました。入ってくるお金が無いので中々出来ずにいました。その後国から中小企業を救済する為、持続化給付金を支給するとの事でした。早速申請すると一週間後に入金されていきました。すぐにお寺参詣し献華料奉納させて頂きました。これからも出来る限り奉納させて頂きます。

(人間教区 Tさん)

# 人の幸せを願う菩薩行

根緒泉溪



## 私たちの使命は

仏様がこの世に御出現された目的は、妙法のみ教えで、この世に人間に生まれて来る人達の心身の病を救い助けてゆく事です。

その尊い御縁を頂いて御信心をさせて頂く私たちは、仏のお使いとして我も唱え人にも勧めんとする人は如来のお使いと仰せですから、この使命を有難く頂いて御奉公に励ませて頂く事が大切なのであります。

## ◆以信得入の御利益談(90ページ)

「立岡しげ、脱疽だつその病を八年前から患っていたが、川浪安兵衛がこれを祈ってその夜から疼うずきが止んでまいったく癒いえた。この話をお講

に回って語るとお講席に同席して

いた老婆が言う。私の孫が二歳の時からこの病が右の足に起こる。

医者に聞くと脱疽だつそと言って医者では治せない、神仏に頼るほかはないと言われて泣く泣く帰った。あ

る人から川島の在所に本門宗の人があり頼んで貰もえと言われ頼んでみると信者が数人来ておがんだ。

その夜から子どもはよく眠り脱疽だつそも小さくなって癒いえた。後で太も

もに腫はれものが出来たが膿うみになっ

てさばけ、これも御利生ごりしょうと感ずる。近所の人々みな妙々みょうみょうなり入した。」とあります。

## ◆見て見ぬふりをしていないと

このように人の難儀に対して無

関心でいたり、お気の毒に思うがそれ以上介入しないと云った御信心前では、慈悲の無い、折角お助け出来る妙法の御信心にお出会いはしてしながら、菩薩行の功德を積むと言う事をしなかつたら、御信心をしていながら虚しい結果になつてしまいます。

## ◆人の幸せを願う信者になる

ですから私たちは、本年度の御奉公目標の一つに、「人の幸せを祈る信者になります」とお看經のたびごとに言上させて頂いていますが、お互いこの心をシツカリ頂いて菩薩行の大功德を積ませて頂けるよう、日々励ませて頂きましよう





# 目上人より学ぶ

## 信者生活あり方

根緒泉溪

### ギャップを見逃さないために

信者の生活ぶりと世間との間にはかなりの相違があります。これを見過さず、ハッキリ分かれば信心の喜びが本当にわかり、自分は

果報者だという感謝の念が強くなり、気に入らぬ事が多い世の中でも「有難うございます」と日々言える安心の境地に浸れます。

そこでこの大事な事を感じさせて頂くにはどうしたらよいのか。

### ① 御本尊様に対して

#### 「お敬いの心」失わぬ事

御宝前のお掃除をねんごろにし、お線香も香りのよいのをあげ、

ローソクに電球を用いる時は形の釣り合いを考え飾り立てず、「生きています敬いをせば」とのご指南を守ってお給仕申すのです。

② 口唱行に励む

少なくとも朝夕「千遍の口唱」を標準にしてお看経中は腰を伸ばし、御本尊を見つめ、唱える声は中音ではつきりと快くシミ通るように、速度は速からず遅からず厳かにして唱えれば、調和のとれた御信心の頂き方になって自然信心は堅固になります。

③ 誹法を払い清める

御宝前の周囲を整頓し御宝前に

座れば自然頭が下がり、心の穢れが清められるようにならねば、御宝前とは言えません。それでこそ御祈願をしたり誓願を立てたり、先祖の霊簿等を安置して回向をしたりしても、真剣になれます。



以上の点に家庭で常に気を配ると、信者らしさが増し信心の目的が達せられます。

「ある角度から 七巻―一二三―」  
このように、妙法の御信心を頂いて御指南通り実行させて頂く。周囲の状態を考え。調和のとれた日常信行であれば、毎日が喜びの中で人生を送る事が出来るのですから、この違い目をシツカリ感得して御奉公に励まれる事が大切です。



六角堂の柚 R2/12/5 安藤照志師撮影



ありがとうございます。

昨年は、コロナに始まりコロナに終始しました。

今年は、僅かながらワクチンという希望が見えて参りました。

私達は、お継りすがとご利益感得かんとくという信心を教えて頂いております。

まだまだ、思い通りのご奉公は難しいと思いますが、それぞれの環境の中でご弘通ご奉公を邁進させて頂きましょう。



事務局長 山本久男

# 轉教

令和3年2月1日発行 第23巻第2号 通算252号  
編集兼発行人 山本久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021 東京都文京区本駒込6-6-11  
TEL 03-5319-3490 FAX 03-5319-3491



<http://myooji.com>



[info@myooji.com](mailto:info@myooji.com)

題 字：水谷日尚上人